

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372600730
事業所名	グループホームゆたか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナ禍で、この3年の間にほとんどの地域行事が無くなってしまい、以前のような交流は難しい状況が続いている。運営推進会議には、地域の区長や民生委員の参加があり、ホームの情報発信と地域の情報の聞き取りはできている。日常の散歩の折には、地域の方々から声掛けもあり、挨拶を交わしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	コロナの感染状況を考慮しながら、対面での会議開催を継続している。この1年では、年6回の会議のうち、1回を書面開催にしている。利用者の日常の写真を紹介しながらホームの運営・活動報告を行い、その場で出た意見や質問、提案等は、職員協議の上、ホーム運営に反映させている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	地域包括支援センターが運営推進会議に参加し、地域の高齢者に関わる情報や課題等を共有し、連携を図っている。市の担当部署とは、ホーム運営に係る報告・相談を通じ、適切に連携している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	コロナ禍以前は、家族会を開催したり、行事参加があったり、家族の横のつながりも図られていたが、コロナ禍では、個別に意見を聴取することが主になっている。昨今は、ホームのコロナ対策・対応について意見や提案が多くなっている。家族の意見や提案に真摯に向き合うとともに、家族協力もお願いする等、良好な関係を保っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

<p>コロナ禍においても、感染状況に配慮し、三密回避等の対策を取りながら対面での会議を実施している。感染拡大予防の観点から、この1年で1回のみを書面開催とした。</p>
--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
	4. 市町村との連携
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎								